

DFT 施工フロー



目地部の清掃



2 墨出し
使う工具は定規だけで正確に墨出しが可能。



3 溝をカット
墨出しを目印に、専用開発したDFTカッターを使用し、正確にジョイント設置用の溝を設置します。



4 溝の清掃
DFTカッターで切断後、溝をはつります。



完成



7 DFTジョイント設置
ゴムハンマーでクサビ部を溝に打ち込む簡単な施工で、水密性や引張抵抗に優れた設置が可能。



6 溝幅計測
加工した溝部を計測します。

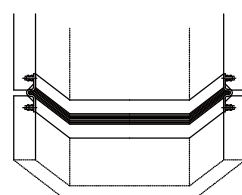


5 端部ハンチ加工
ゴムハンマーでクサビを溝に打ち込む簡単な施工で、水密性や引張抵抗に優れた設置が可能。

DFT 使用例

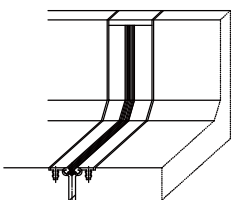
RCトラフ

軟弱地盤の不等沈下に追従します。また、布設替え等による目地の取付も容易に行えます。



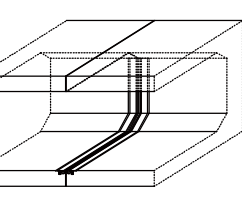
PCフリーム

ロングスパンによる変位にも充分追従し、優れた対候性により、長期にわたり止水性能を維持します。



ボックスカルバート

柔構造ボックスとして、軟弱地盤における地盤沈下に伴う変下による変位に追従します。



DFT ジョイント研究会 お問い合わせ先

DFT ジョイント研究会

【事務局】

〒160-0023 東京都新宿区西新宿4丁目3番12号 渡辺西新宿ビル4階
(株式会社ダイチテック 東京営業所内)

TEL:03-5989-0503 FAX:03-5989-0414

ホームページはこちら <https://daichi-tech.com>

カタログ記載内容 2021年11月現在

全天候クサビ挿入型目地材

DFT ジョイント 工法

Defence Form Troughjoint



DFT ジョイント研究会



DFTジョイント工法とは

DFTジョイントは、「Defence Form Trough Joint」（ディフェンス・フォーム・トラフ・ジョイント）の略です。既存開水路の長寿命化に必要な目地材の耐久性向上のため、開発しました。



DFT 特長

簡単取付、スピーディーな施工

カッターでカットした溝に DFT ジョイントのくさび部をハンマーで打ち込むだけなので、取付は簡単かつスピーディーです。

悪天候での施工可能

施工面が濡れていても乾燥作業が不要です。また、冬季施工においても防寒養生は不要です。

不等沈下に追従可能

軟弱地盤の不等沈下による上下左右の段ずれに対して、追従することが可能で、長期にわたり止水性能を維持します。

優れた対候性・耐久性

原材料に EPDM（エチレンプロピレンゴム）を使用しているため、対候性・耐久性に優れ、長期間の使用が可能です。

DFT 品質規格および試験値一覧

DFT ジョイントの品質規格

要求性能項目		品質規格
基本的性能	対候性	JIS K 6266 サンシャインカーボンアーク灯式 2400 時間（40 年相当）に合格
	付着性	接着剤を使用しないため、試験不要
	止水性	目地被覆工法の止水試験（0.1MPa）に準じ実施し合格
	伸縮追従性	新工法の試験を実施予定

試験値一覧

要求性能項目	単位	規格値	摘要	
静的せん断弾性係数	N/mm ²	0.98±0.1	JIS K 6254	
引張強度	N/mm ²	12 以上	JIS K 6251	
引張伸び	%	400 以上	JIS K 6251	
硬 さ	—	A60±5	JIS K 6253	
老化試験	引張強さ変化率	%	-20 以内	JIS K 6257 (100°C×72h)
	伸び変化率	%	-30 以内	
	硬さ変化	—	0～+7	
圧縮永久ひずみ率	%	45 以下	JIS K 6262	
耐寒性	°C	-50 以下	JIS K 6261	
耐水性（質量変化率）	%	5 以下	JIS K 6258	
耐オゾン性	肉眼観察で亀裂の無いこと		JIS K 6259	

※製造・試験：東京ファブリック工業株式会社

DFT 形状・寸法

